

# 地域創生自治体サミット

「地域創生自治体サミット」が2月6日、雫石町中央公民館で開催されました。昨年、当町で初めて開催した「消滅してたまるか自治体サミット」に続く開催。地方の人口減少が進む中、活力ある町づくりへの決意を発信しようと葛巻、雫石、岩手の岩手郡3町が主催しました。



1「3町が連携を深め、さらに外に向かって情報発信していく」と地域創生の決意を力強く宣言する鈴木町長 2「結婚や子育てがしやすい環境を整えなければならない」と訴えた増田前知事 3ジェラート工房の紹介や町づくりへの熱い思いを語ったくずまき乳製品加工研究会の中村会長 4総合司会とパネルディスカッションでコーディネーターを務めたIBCアナウンス学院の河辺学院長 5約800人が来場しほぼ満席となった会場

## 3町が連携し 活力ある町づくりへの決意発信

3町の町民や関係者ら約800人が参加。このうち当町からは約60人が参加し、人口減少時代に対応した元気ある町づくりへの気持ちを新たにしました。

第1部では、日本創生会議座長の増田寛也前知事が「人口減少時代の地域づくり」と題して基調講演。将来推計人口や各地域の出生率、主要国の長時間労働者の割合などのデータを示し「若い世代と子育て世代に政策を集中し、結婚や子育てしやすい環境を整えていかなければならない」と主張しました。

第2部では「地域づくり活動実践者から見た町デカラ」と題したパネルディスカッションが行われ、IBCアナウンス学院の河辺邦博学院長をコーディネーターに、鈴木重男町長、深谷政光雫石町長、民部田幾夫岩手町長が人口減少時代における今後の町づくりの方向性について熱く語りました。

また、くずまき乳製品加工研究会会長でくずまきジェラート・クローバー畑を経営する中村和子さん、雫石町で「南部鉄アクセサリー」の製造・販売を手掛ける流工房社長の鈴木勝さん、インターネットで町の魅力を発信している岩手町観光ボランティアガイドの会事務局長の山口誠さんが、実践している活動を紹介したほか、地方の魅力や将来展望、課題などを語り合いました。

第3部では、各町長が地域創生の決意を力強く宣言。鈴木町長は「この3町には食料やエネルギーなど、次の時代に大事なものがしっかりとある。3町が連携を深め、さらに外に向かって情報発信していく」と強調しました。



サミットを終え、地域創生への決意を新たにした3町長 (左から民部田幾夫岩手町長、深谷政光雫石町長、鈴木重男町長)

### 希望郷いわて国体冬季大会 スピードスケート競技

## 星野帆乃華さん トリプル入賞の快挙

希望郷いわて国体冬季大会のスピードスケート競技が1月28日から31日までの4日間、盛岡市の県営スケート場で行われ、星野出身で盛岡農業高校1年の星野帆乃華さんが、少年女子3種目で入賞する快挙を達成しました。

少年女子500mは第7位、少年女子1000mは第8位、少年女子2000mリレーは第7位として、



少年女子500m決勝 コーナーを攻め7位入賞 (中央が星野さん)



盛岡農業高校1年 (星野出身)

## 星野帆乃華さん

- ▶少年女子500m **第7位**  
タイム 42秒33
- ▶少年女子1,000m **第8位**  
タイム 1分29秒00
- ▶少年女子2,000mリレー **第7位**  
(500m×4人/第1走者)  
タイム 2分58秒50

## 町民スキー・スノーボード大会

第42回町民スキー大会、第7回町民スノーボード大会は2月14日、平庭高原スキー場で行われました。

小学生から一般までの26人が参加。時折、降雨と強風が吹く悪天候の中、年齢別、男女別に大回転でタイムを競いました。競技の結果、第1位入賞者は次のとおりです(敬称略)。



第1位に輝いた選手の皆さん

### ■スキー大会/第1位入賞者

クラス	氏名	タイム
小学校A (1~2年生)	男子 千葉翔太 (江刈小2年)	1分26秒42
	女子 南館杏 (小屋瀬小2年)	1分33秒58
小学校B (3~4年生)	男子 松浦蒼太 (五日市小3年)	1分27秒72
	女子 山岸千笑 (五日市小3年)	1分31秒01
小学校C (5~6年生)	男子 田野宇浩 (小屋瀬小5年)	1分34秒94
	女子 千葉美珠樹 (小屋瀬小5年)	1分21秒76
高校・一般A (16~49歳)	男子 上路弘志 (泉田・48歳)	58秒90
高校・一般B (50歳~)	男子 千葉郁男 (葛巻クラブ・50歳)	47秒17
高校・一般	女子 波紫尚子 (橋場・33歳)	1分22秒40

### ■スノーボード大会/第1位入賞者

クラス	氏名	タイム
高校・一般	男子 遠藤考則 (茶屋場・39歳)	1分04秒68